

令和 年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	然と伝統の融合した白馬岩岳の街並みの通年での活性化加速事業
事業主体 (連絡先)	白馬岩岳観光協会 (0261-72-2780)
事業区分	6(ア) 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ハード
総事業費	4,504,500 円 (うち支援金 : 3,378,000 円)

事業内容

(ア) 街並みのライトアップの強化

A) 新田、切久保地区の街の入り口に大きな提灯型の照明看板を設置

B) 新田地区内の街路灯に提灯型照明等を設置し、桜並木、アジサイ並木をライトアップ

(イ) ライトアップされた街並みを活用したイベントの定期実施

A) スノーシーズンの「冬の夜祭」を開催

B) 以降、今後、夜桜やアジサイのライトアップを使ったイベントを企画中

(活動写真)



【街並みと提灯】

【目標・ねらい】

- ① 魅力的な街並み創出
- ② 夜間の賑わいの創出
- ③ イベントの活用による誘客の強化

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

政教分離等の問題で切久保神社へのライトアップが対象外となるなど、当初プランからの変更は一部あったものの、ほぼ予定通りのライトアップの施工が完了し、街並みの魅力向上に寄与した。

事業計画変更に伴い工事完了が遅れたため、いまだこれを活用したイベント開催に至っていないが、今後のイベント展開においてさらなる集客力向上につなげていきたい。

※自己評価 【 B 】

【理由】

工事期間の遅れなどにより未だイベント実施に至っていないが、街並みの魅力向上について予定通りの成果が出ているものとするため。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

来期予算も活用して切久保地区を中心としたライトアップを進め、エリア全体での魅力創出を実施予定。

また、こうした街並みを活用し、しっかりとイベント展開を進めていくとともに、スキー場も含めたエリア一体でさらなる誘客力の強化に努め、地域活性化を進めていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある